

長野原町ゼロカーボンシティ宣言

長野原町は、緑豊かな自然を有し、時には自然の恩恵を受け、時には自然と対峙しながら、自然と共生してきました。

近年、地球温暖化による気候変動の影響により、台風やゲリラ豪雨、豪雪などの気象災害が頻発しており、その脅威は町民生活にとりましても身近な問題となっています。

本町では「長野原町バイオマス産業都市構想」を策定し、国の認定を受け、災害に強く環境にやさしいまちづくりの実現に向けて動き出しました。脱炭素への取り組みを推進し、この豊かな自然を次世代に引き継いでいくことが、いまを生きる我々に課せられた使命であります。

そこで、本町は「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）」を目指し、町民一人ひとりが自分事として捉え、考え、行動し、脱炭素社会の実現に向けて取り組むことをここに宣言します。

令和5年（2023年）1月12日

長野原町長 萩原睦男